

喜歌劇『こうもり』 あらすじ

1 幕

序曲が終わると、上手からファルケが登場し口上を述べる。幕が開くとそこはアイゼンシュタイン家の居間、女中のアデーレが一通の手紙を持ってはしゃいで入ってくる、何とオルロフスキーからの招待状が届いていたのだ。しかし女中の仕事があり悩む、そこへこの妻ロザリンデが浮かぬ顔で登場すると、アデーレはとっさに叔母が病気で倒れたのでお見舞いに行くことを願い出る。それを軽くあしらって一人でいるところに日頃ロザリンデを慕うアルフレードがやってきて、ご主人が大変な目に合うそうだから慰めにやってきたと迫る。そこへ主人のアイゼンシュタインが弁護士のプリントと言い争いをしながら入ってくるので慌てて逃げる。何とアイゼンシュタインは法廷を侮辱した罪で刑期が倍の2週間になってしまったのだ。それを弁護士のプリントのせいだと二人は大喧嘩。ロザリンデはアイゼンシュタインをなだめ二人で悔やむ。そこへ友人のファルケがやってきてアイゼンシュタインをオルロフスキー侯爵の舞踏会に誘う。これは実はファルケが仕組んだ罠であるとも知らずに急に色めき立ってそのパーティーに行くことを決める。一方ファルケはロザリンデにもそのパーティーに変装して出るように説得して分かれる。アイゼンシュタインが家を出るとその隙にまたアルフレードが現れる。ロザリンデを誘惑しようとするが、間の悪いところに刑務所所長のフランクがアイゼンシュタインを連行しにやってきたのである。万事急須、ロザリンデは二人の関係を怪しまれないように、アルフレードをアイゼンシュタインの身代わりにさせて刑務所に送り出すのであった。

2 幕

ここは大金持ちのオルロフスキー侯爵邸の大広間。多くの財界人や政治家の人々が集って賑やかに談笑している。そこへオルロフスキーがファルケと一緒に入ってきて退屈なそぶりで自分のモットーをみんなに歌う。ファルケは今宵の舞踏会で特別に招待した人物を次々に紹介していく。先ず手始めにアデーレ、ロザリンデの衣装を借りて登場させ、次にアイゼンシュタインをフランスのルナール公爵と偽っている。二人が鉢合わせになって慌てふためいているその様子をオルロフスキーがにやにやして見ている。アデーレはアイゼンシュタインことルナール公爵が私を女中だとからかったと憤慨し回りの人々にこの人は世間知らずだと笑いものにするのであった。次に刑務所長のフランクが入ってきて、これもフランスのド・バステュー閣下と名前を変えている。バステューと言えばあの悪名高い監獄の名前である。今宵監獄に入るべきアイゼンシュタインと監獄に入れるべき所長がパーティーの席でお酒を酌み交わす面白さをご覧頂きたい。そうとも知らずに楽しそうにしている二人を見て少しづつオルロフスキーは興味津々となっていくのであった。そし

で最後にハンガリーの伯爵夫人として仮面をつけたロザリンデが登場し役者がそろうのである。アイゼンシュタインは自分の妻であるとも知らずにロザリンデに近づき口説き始める。ロザリンデは口説きの証拠である金の時計を奪い仕返しの機会を探るのであった。舞踏会は、オルロフスキーの歌（シャンパンの歌）で更に盛り上がり全員が打ち解けていく、そしてファルケが知らない者同士、今夜はお互いに口づけを交わそうと歌い甘美な一時に酔っていく。また踊り子が現われ楽しいダンスを踊り、人々は全員一緒になってワルツを踊り始めるとやがて時刻は大晦日の12時に迫りカウントダウンが始まる。アイゼンシュタインとフランクは刑務所に行くために慌てて帽子と外套を用意させお客の笑いの中で刑務所に向っていくのであった。

3 幕

ここはフランクが所長を務める刑務所の中。序曲が終わると刑務所の奥からアルフレードの歌声が聞こえる。実は彼はこの町の音楽家だったのである。刑務官のフロッシュがその声に怒り心頭、酔っ払いながらも歌うんじゃねえと大声で怒鳴る。そうこうしているとようやくフランクが千鳥足で帰ってくる、酔っ払っているのですぐ寝てしまう。フロッシュが戻ってきて監獄に入っているアイゼンシュタインが弁護士に会いたいと要求していることを伝える、そこへアイゼンシュタインがやってきてフランクと楽しそうに会話するが、お互いの存在をなかなか信用しない、フランクは監獄に入っているアルフレードを連れに中へ入っていく、その間にフロッシュが弁護士プリントを連れてやってくる、その姿を見たアイゼンシュタインはびっくりして何故呼びもしないお前がいるのだと怒鳴る、訳の分からないフロッシュは混乱するばかり、アイゼンシュタインは二人を奥の部屋に連れて行く。フランクに連れられてやってきたアルフレードは弁護士に会えると思っていたが、やってきたのはロザリンデだった。アルフレードはロザリンデにひどい目にあったと訴える、そこへ弁護士に変装し本物のアイゼンシュタインが現われ二人の仲を探る。アイゼンシュタインは怒り心頭で二人をののしるが、ロザリンデにこの時計は誰のものと金の時計を見せられて驚く。アイゼンシュタインは白を切ろうとするが、今まで一緒に登場していた人々が入ってきて悪いのは貴方だと証言する。それを見てついにアイゼンシュタインは観念しロザリンデに誤るのであった。ファルケは実は全員が事のあらましを知っていて、全ては私の仕組んだ復讐劇だったことを打ち明ける、アイゼンシュタインはこれもすべては酒のせいだと言って一同笑って幕となる。